

読んで!

見で!

なすから議会だより

第66号

令和4年11月10日



那須烏山市

いちご一会とちぎ国体 アーチェリー大会 (10月7日~10日)

目次

令和4年第5回9月定例会のあらまし……………	P 2	表彰……………	P 13
令和4年第5回9月定例会の審議結果一覧……………	P 4	J R 烏山線利用促進特別委員会	
令和4年第5回9月定例会主な質疑……………	P 5 ~ 6	山あげ祭臨時特別列車のお出迎え……………	P 13
令和4年第5回9月定例会決算審査……………	P 7 ~ 8	特集・あとがき……………	P 14
一般質問 (9人)……………	P 9 ~13	●編集・発行 那須烏山市議会広報委員会	
		●問い合わせ 議会事務局 (☎0287-88-7114)	

令和4年第5回 9月定例会のあらまし

那須烏山市議会9月定例会は6日に招集され、会期を16日間と定め、補正予算や条例改正など計13議案と8つの会計の決算認定について審議しました。また、7日から9日まで9人が一般質問を行いました。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和3年度の決算を認定しました

厳しくチェック!



9月定例会は「決算議会」ともいわれ、前年度の市のお金の収支に関する審議を行います。これを決算認定といいます。那須烏山市議会では、議会初日に常任委員会に付託され9月13日から14日の2日間にわたって審査を行いました。

決算の詳しい内容については「広報なすからすやま第205号」6～7ページを、また各常任委員会の審査結果については7～8ページをご覧ください。

一般会計 **歳入** 136億1926万9千円 **歳出** 130億6385万円
特別会計
企業会計 **歳入** 80億6389万6千円 **歳出** 79億9280万2千円

令和4年度予算を補正

令和4年度補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された歳出・歳入の主な内容は次のとおりです。

会計区分	補正前の額	9月補正予算額	合計
一般会計	114億1971万円	6億782万4千円	120億2753万4千円
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	32億7987万3千円	17万4千円	32億8004万7千円
熊田診療所特別会計	4635万6千円	261万4千円	4897万円
介護保険特別会計	28億5548万4千円	5291万1千円	29億839万5千円
下水道事業特別会計	3億3153万9千円	576万4千円	3億3730万3千円
水道事業会計	収益的収入	6億4533万2千円	6億4583万1千円
	収益的支出	5億4166万円	5億4310万2千円
	資本的支出	4億6527万9千円	4億9779万5千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
●ふるさと応援寄附金見込み額の増額に伴う委託費用・庁内ネットワークの整備費など	3245万9千円
●停電時に電力を確保するための自家発電設備の更新費用・福祉センター駐車場多目的トイレのドアの修繕など	2263万7千円
●水道基本料金の減免に伴い減収となる水道事業会計への繰出金など	4889万9千円
●農業収入が減少した農業者への支援者の給付事業及び肥料、燃料、園芸施設設置、飼料等の補助金など	1億324万円
●プレミアム付き商品券発行事業並びに飲食店等割引券発行事業の補助金など	6434万円
●国体開催へ向けた周辺道路環境整備費・子供たちの安全のため、老朽化したスプリング遊具を障がい者に配慮したものに更新するための工事費など	3億1135万2千円
●電子図書館サービス拡充・高騰する学校給食食材の購入に係る交付金など	2261万3千円

▼歳入の主な内容	補正額
●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など	2億6589万8千円
●農業新規就農者に対する補助金など	1039万1千円
●ふるさと応援寄附金、企業版ふるさと応援寄附金など	950万円
●市道整備事業に対する過疎債や合併特例債の計上など	1億7290万円

条例改正

○市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

物価の変動等に鑑み、公職選挙法施行令が一部改正されたことに伴い、「市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」を一部改正しました。

○市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例

人事院規則の改正に伴い「市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例」を一部改正しました。

○市職員の育児休業等に関する条例

国家公務員の妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援を目的として人事院規則が改正されたことに伴い、国家公務員の育児休業の取得制限の緩和や非常勤職員の育児休業取得要件の緩和等が講じられることから「市職員の育児休業等に関する条例」を一部改正しました。

○市子ども・子育て会議設置条例

令和4年6月22日に公布された「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」により「子ども・子育て支援法」の一部が改正され、令和5年4月1日から施行されることに伴い、本条例の引用部分に条ずれが発生するため「市子ども・子育て会議設置条例」を一部改正しました。

報告

一般財団法人那須烏山市農業公社から提出された「令和3年度の経営状況説明書」を報告しました。

「令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率」を報告しました。

人事

11月29日に任期満了となる阿久津昌子氏に代わり、坂本浩之氏を市教育委員会委員として任命することが同意されました。

議決事項

令和4年4月1日に旧南那須町地域を含めた市の全域が過疎地域として指定を受けたことに伴い、市過疎地域持続的発展計画の一部改定を行いました。

令和3年度水道事業会計について、令和3年度に補てん財源として使用した減債積立金及び建設改良積立金の合計1億1993万3806円並びに過去に補填財源として使用され現金の裏付けがなくなっている未処分利益剰余金3010万円の合計額1億5003万3806円を資本金に組み入れ、残額の5億8606万2754円を建設改良積立金に積み立てることについて議決されました。

傍聴者数

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
9月6日(火)	開会・上程・採決・付託	6人
9月7日(水)	一般質問	41人
9月8日(木)	一般質問	4人
9月9日(金)	一般質問	4人
9月12日(月)	決算総括質疑	0人
9月21日(水)	報告・採決・閉会	1人
計		56人

令和4年第4回 7月臨時会の結果

7月19日(火)に招集され、市長から提出された議案は全て全会一致で承認等しました。その議案は右記のとおりです。

	議案等	審査結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)について)	承認
議案第2号	那須烏山市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について	可決
議案第3号	財産の取得について	可決
議案第4号	財産の取得について	可決
意見書案第1号	特定盛土等の撤去に向けた財政支援を求める意見書の提出について	可決

令和4年第5回9月定例会の審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
報告第1号	一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書の提出について	報告	議案第4号	令和4年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
報告第2号	令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	議案第5号	令和4年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第11号	那須烏山市教育委員会委員の任命同意について	可決	議案第6号	令和4年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第7号	那須烏山市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決	議案第12号	那須烏山市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
議案第8号	那須烏山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決	議案第13号	令和3年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第9号	那須烏山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	認定第3号	令和3年度那須烏山市熊田診療所特別会計決算の認定について	認定
議案第10号	那須烏山市子ども・子育て会議設置条例の一部改正について	可決	認定第6号	令和3年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定
議案第1号	令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について	可決	認定第7号	令和3年度那須烏山市下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第2号	令和4年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	認定第8号	令和3年度那須烏山市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第3号	令和4年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決			

(起立による採決)

*掲載は採決順で決井議長は表決に加わらない。 ○…賛成 ●…反対

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		高木洋一	福田長弘	荒井浩二	堀江清一	興野一美	青木敏久	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	決井由放	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
認定第1号	令和3年度那須烏山市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第2号	令和3年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第4号	令和3年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第5号	令和3年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

議会の動き

7日	1日	11月	28日	27日	24日	21日	19日	18日	14日	12日	10月	29日	13日	8日	7日	6日	9月	30日	10日	令和4年8月
福岡県須賀川市ほか(8日まで)	文教福祉常任委員会視察(静岡伊豆の国市ほか(2日まで))	総務企画常任委員会視察(小山市)	栃木県議会議長会議並びに議員及び事務局研修会	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議	議会議長会議

9月定例会のあらまし

審議結果一覧

主な質疑

一般質問

一般質問

特集

令和4年第5回

9月定例会の主な質疑



9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

令和4年度那須烏山市一般会計補正予算（第3号）について

Q 議員 「栃木県ひとにやさしいまちづくり条例」が平成11年に制定された。この条例には、高齢者や障がい者も安全で快適な日常生活を営めるような生活環境の整備に、県も県内各自治体も努めなければならないと定められている。各自治体が設置する、公共施設である建築物、道路、公衆用トイレの設置の際も、この条例が適用されるように、全職員が認識した上で、これからの事業予算を議会に提案されるよう、強く要望する。

A 市長 最初に、清水川せせらぎ公園は「岩がむき出しになっていて危ない。それを取り除く。」という話があったが、議員の皆様から計画的に進めてほしいという意見があり、その後、様々なご提案をいただき、私どもで精査した結果、誰もが遊ぶことのできるユニバーサルデザインの遊具及びトイレを設置するべきだというご提案をいただいた。今回は、そのような形の遊具を設置することにした。

Q 議員 農業の資材費、燃料等、様々なものが高騰している。認定農業者や大規模農家だけでなく、収入が大幅に落ちた方に対するの支援は県内初であり、画期的なことである。その事業内容について伺う。

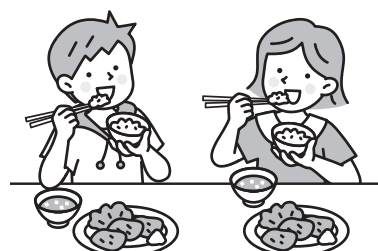
A 農政課長 農業収入が減少した農業者の継続的な農業経営の支援を目的に、令和3年度の農業収入が平成30年度の農業収入と比較して20%以上減少した個人及び法人について、交付金を交付する。交付額については、専業農家が10万円、第1種兼業農家が5万円、第2種兼業農家2万5千円、法人は一律20万円という内容になる。原油価格・物価高騰対策支援交付金であるが、昨今の原油価格・物価高騰の影響を受けている農業者の負担軽減及び本作、次期作に向けた経営支援を目的に、交付金を交付す

る。

事業内容は4つある。1つ目は、肥料、農薬等の購入費補助である。認定農業者等の担い手を対象に、1経営体当たり5万円を上限に肥料代、農薬代の補助をする。2つ目は、燃料費の購入補助である。園芸施設で使用する重油高騰分、1リットル当たり27.8円を高騰分として、園芸施設を経営する農家に対して補助する。3つ目は、園芸施設の設置費用である。パイプハウス等の設置費用については、設置費用の50%、または150万円を上限に、いずれか少ない方の額を補助する。4つ目は、飼料購入費補助である。乳用牛1頭当たり500円、肉用牛1頭当たり400円、豚については1頭当たり200円、鶏については1羽当たり100円、飼料の一部を負担する。

Q 議員 学校給食センター運営費の詳細内容について伺う。

A 学校教育課長 学校給食の食器購入として226万5千円、高騰対策交付金として621万3千円の予算を計上している。1つ目は、食器の衛生管理検査で残留でん粉や残留脂肪が検出されており、衛生面で指摘があったため、学校給食用食器と箸を1900個購入する。2つ目は、学校給食食材効果対策交付金の予算を計上している。世界的な原油・物価高騰により、給食の食材も高騰している。その高騰分を保護者負担ではなく、市が交付金として学校給食会に交付するものである。交付金の対象は、1日当たりの単価の10%分を計算根拠として、2、3学期の131日分を予定している。



令和4年第5回 9月定例会の総括質疑の主な質疑

9月定例会での令和3年度決算に関する総括質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

ふるさと応援寄附金について

Q 議員 令和2年度は、1730万9117円の寄附に対し、寄附金控除と合わせると若干の赤字であった。令和3年度の結果を伺う。

A 総合政策課長 令和3年度の結果については、差引き423万1908円の黒字だった。寄附額2508万1925円に対し、事務経費が529万5531円、市民税の寄付金控除額が1555万4486円だった。

ようこそなすから赤ちゃん応援事業について

Q 議員 ようこそなすから赤ちゃん応援事業の内容について伺う。

A 子ども課長 出生を祝福し、誰もが安心して子育てができるように、保護者の経済的な負担を軽減し、子供の健やかな成長を促進するため、おむつやミルク等の購入に使用できる子育て応援券を交付する事業である。対象は、出生1歳未満の転入者で、交付額は子供1人に対して年間3万6千円である。

公共施設等総合管理計画について

Q 議員 今回10施設を用途廃止し、統廃合の実績がかなり進展したと考えるが、これは計画どおりなのか伺う。

A 総合政策課長 公共施設等総合管理計画に位置づけた用途廃止の検討については、計画どおり進んでいるものと認識している。今後についても、目標達成に向けて、公共施設再編整備検討委員会を中心とした全庁的な取組体制の中で、適切かつ着実な進捗管理を行ってまいりたい。



用途廃止予定の烏山体育館

市職員定期異動期間について

Q 議員 職員の定期異動期間が短いのではないかと考えるが、この事について伺う。

A 総務課長 定期異動期間については、人事異動方針に基づいて人事ローテーションを行っており、専門性を有する職務の部門や地域との信頼関係など、それぞれの実情に配慮しながら進めている。若手職員は3年を目安に異動させ、多くの業務を経験することにより、幅広い視野の育成と適性の把握に努めている。

烏山城の国指定史跡化に向けた対策について

Q 議員 烏山城の国指定史跡化に向け、現在の進捗状況について伺う。

A 生涯学習課長 8月10日付けで、文化庁に意見具申をし、審査中である。当初、来年の3月頃には結果が出る予定であったが、国の審議会の開催が遅れている影響により、半年から1年程度遅れる可能性がある。

「子育て施設の整備を求める要望書」 に対する対応について

令和4年8月5日(金)に那須烏山市議会議長あて「子育て施設の整備を求める要望書」が、市内子育て世代の方々やお子様等281名の署名とともに提出され、渋井由放議長が受理しました。

市議会では、この要望書を重く受け止め、全議員で協議の上、要望事項に関するこれまでの経過等をまとめた「子育て施設の整備を求める要望書」に対する説明書を作成し、令和4年10月4日(火)に今回の要望書提出者の中から代表の4名に提出し、説明及び意見交換を行いました。

なお、要望書及び説明書は、市ホームページに全文を掲載しています。

決算審査

令和3年度一般会計、6特別会計、水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会で出された意見等の中から、主なものを要約して掲載しています。

総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

- 基金について、決算剰余金の額に応じ市有施設整備基金や庁舎整備基金に計画的な積立てを行っているが、今後、多大な財政負担が見込まれる事業に対応するため、財政調整基金や地域振興基金等、柔軟性のある基金への積立てを優先されるよう検討されたい。
- 財政運営について、合併算定替の終了に伴い地方交付税が減額となり、より財源の確保が求められる状況にあることから、本市の独自性を生かしたふるさと応援寄附金の拡充や、新たに活用が見込める過疎対策事業債を十分に活用し、引き続き健全な財政運営に努められたい。

まちづくり課

- 公害防止対策について、市内の複数箇所において無許可の不適正事案が発生していることから、引き続き関係機関と連携し、市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例に基づく適正な指導や措置命令を実施し、抑止効果を高めるための取組を推進されたい。
- JR烏山線について、路線の存続に向けた本市独自の方策や市民との協働による利用向上策を検討し、利用者が着実に増加するための取組を推進されたい。

総務課

- 自主防災組織強化推進事業について、制度活用の実績が増加傾向にあり、各自治会の防災意識が高まりつつある状況にあることから、自主防災組織防災計画の策定を支援するとともに、今後も更なる制度の周知に努め、引き

続き各自治会の取組を支援されたい。

- 那須烏山市次世代育成支援・女性活躍特定事業主行動計画「NA+KA+MA（仲間）プラン」の策定について、職員の子育て環境の充実や女性職員の活躍の推進を図るなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に期待されるところであり、心や体の健康づくりの向上と併せて働きやすい職場環境づくりに努められたい。

税務課

- キャッシュレス決済について、時代に即した納付方法として市税等の利用実績が着実に増加していることから、各種証明書等に係る手数料等への導入についても、これまで培ったノウハウを基に全庁的な連携のもと検討されたい。
- 滞納整理について、令和3年度は国や県と連携した合同公売が中止となってしまったが、引き続き大口滞納法人に対する滞納整理に努めるとともに、新規滞納者を作らないための収納体制を確立し、徴収率の改善に向け取組を推進されたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課

市民課

- 来庁者への挨拶と接遇向上を心掛けられていることを評価する。個人情報の取り扱いにおいては万全を期され、市民一人ひとりに寄り添った市民目線の対応に引き続き心掛けられたい。
- 熊田診療所については、今後のあり方を検討する市民アンケートの結果を踏まえ、地域医療を担う医療機関として今後の方針及び方向性を検討されたい。

健康福祉課

- 高齢者等に対するワクチン接種が大きな混乱

もなく実施できていることを評価する。市民への情報提供を速やかに行い、引き続き、新型コロナワクチン接種対策室を中心に、迅速かつ適切な実施体制の確保に努められたい。

- ・高齢化が進展していく中、高齢者が積極的に社会参加し、生きがいをもって住み慣れた地域で安心して日常生活を営むことができるよう、就労及び交流機会の充実につながる施策をさらに推進されたい。

こども課

- ・令和3年度新規事業である「なすから赤ちゃん応援券事業」は、有効な施策であるが、多様なニーズに対応し、誰もが安心して子どもを産み育てることができるよう、子ども・子育て支援施策の更なる充実を図られたい。
- ・こども館については、施設の老朽化が著しい。時代に合わせた施設となるよう、最適な運営方法を含め検討されたい。

学校教育課

- ・GIGAスクール構想により、小中学生に一人1台タブレット端末が整備された。子どもたちが端末を安全かつ適切に使いこなせるよう、情報活用能力の育成に努められたい。また、児童生徒間、学校間の教育格差がなくなるよう、学校・教職員と連携を図られたい。
- ・小規模の良さを生かした「特色ある学校運営」を目指し、境小学校を小規模特認校に指定したところである。今後の児童数の推移や地域の課題を踏まえながら、地域とともにある学校づくりを推進されたい。

生涯学習課

- ・令和4年度に本市で開催される国体アーチェリー競技会のリハーサル大会が開催された。リハーサル大会における課題を再確認し、本大会に向けて万全を期されたい。
- ・烏山体育館をはじめ、市の体育施設全般の老朽化が目立つ。公共施設等総合管理計画に沿って、計画的な修繕、施設の統廃合を積極的に検討されたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課

- ・令和元年東日本台風による農地・農業用施設の災害復旧について、おおむね完了したことは評価する。しかし、農業に対する課題は多く、持続可能な力強い農業の実現に向け、高収入作物への転作推進、新規就農者への就農相談や支援体制の充実を図られたい。
- ・八溝そば及び中山かぼちゃについて、担い手の育成を支援し、ブランド力強化による販路拡大に努めるとともに、特に中山かぼちゃにおいては、新規栽培者の確保、生産力向上の支援に努められたい。

商工観光課

- ・観光プロモーションについて、既存の観光周遊ナビや新たに作成した動画や観光パンフレットを最大限に活用する工夫をし、認知度を高めるとともに観光客の増加に努められたい。
- ・中小企業振興対策事業について、創業者支援や市内の空き店舗の有効活用に期待できる事業であり成功実績を踏まえ、長引く新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊する事業者に対し更なる支援に努められたい。

都市建設課

- ・防災集団移転促進事業について、下境地区・宮原地区において地元住民説明会が実施されたが、その時の要望等を活かし市民に寄り添った計画策定となるよう適切に進められたい。
- ・公園整備について、幅広い利用者を想定し効果的かつ効率的な維持管理を進めるためにも、有利な財源措置や新たな都市公園の設置に関し調査研究に努め、計画的な整備を進められたい。

上下水道課

- ・水道事業について、水道管路更新計画に基づき老朽化した管路の更新を計画的に図り、有収率の向上に努められたい。
- ・下水道事業について、烏山中央処理区の水洗化率は依然として低位であることから、水洗化率の向上が図れるよう下水道の加入促進に努めるとともに、区域外においては、今後も合併浄化槽の普及啓発を図り、環境整備の向上に努められたい。また、令和5年度から適用される公営企業会計の独立採算制を見据え、健全な運営に努められたい。



趣味は早朝ラン
走と献血♥

高木 洋一 議員

- ①本市におけるITデジタル化について
- ②保健衛生センター整備の進捗状況について
- ③豚熱発生について

本市におけるITデジタル化について

Q 本市におけるGIGAスクール構想について、現状と今後の方針について伺う。

A 教育長 高速大容量の通信ネットワーク整備及び1人1台端末導入を管理し授業等で使用を開始している。今後は、児童・生徒の共同学習の支援や指導の改善等を行い、ICTを活用した事業力向上に努めたい。

Q モバイルルーターについて制限を設けずに無料貸出しを提案する。

A 教育長 現在10台ほど購入済である。今後台数をそろえ、無料貸出しには財政担当と話し合いを進めていきたい。



端末を使って授業を受ける児童

保健衛生センター整備の進捗状況について

Q 令和4年3月定例会にて附帯決議された「一般廃棄物処理施設及びし尿処理施設の建設」について現在の状況を伺う。

A 市長 住民の理解が得られない場合は、事業に着手しない。時間をかけて話し合いをして進めていきたい。

豚熱発生について

Q 周辺地域の風評被害や地下水の汚染等が懸念されるが今後の対応について伺う

A 市長 県との連携を図りながら不安を払拭できるよう適宜、正確な情報を分かりやすく提供していきたい。

A 農政課長 水質調査は県の方と調整している。期間を定めずに定期的な検査を県に要望する。市独自の調査として今後いろいろと協議をしてまいりたい。



授かった健康な
身体に感謝。

中山 五男 議員

- ①新型コロナウイルス感染症の検証について
- ②全国学力テストの結果について
- ③不登校児童生徒の実態について

全国学力テストの結果について

Q 今年度の全国学力学習状況調査は4月、市内小学6年生203名、中学3年生183名が挑んだ。このテストの目的は、学校で学んだことをどれほど理解しているかを調査することに加え、教職員の指導力向上にある。これまでの結果では、小学生は県平均を上回る教科があるが、中学生の成績は伸び悩んでいる。毎年、教職員は先進地へ視察に行っているが、指導力向上に繋がっているか伺いたい。

A 教育長 教職員は視察を通して学んだことを日々の授業に生かし、指導力の向上に取り組んでいる。しかしながら、御指摘のとおり、中学生の成績が芳しくない状況が続いている。今年から視察に学校の管理職も同行させており、教職員一丸となって指導力向上、児童・生徒の学力向上に取り組む風潮を作ってまいりたい。

不登校児童生徒の実態について

Q 文部科学省の「不登校児童生徒実態調査」では、「先生のことから原因で学校に行きづらくなった」という回答が、小学生30%、中学生28%であることに驚いている。本市の児童生徒指導方針は、市総合計画に「児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導」と明記されている。そのとおり指導されているのなら学校嫌いは起こらないはず。本市の実態を伺いたい。

A 教育長 不登校の要因は、学校に関わるもの、家庭に関わるもの、本人に関わるものの3つに分類される。

不登校児童・生徒は現在、小学校5名、中学校24名である。不登校は重大な問題と認識しており、その解消に教育委員会、教職員が全力で取り組んでいる。



今、那須烏山市議会が面白い!!

堀江 清一 議員

- ①本市の危機管理、意識について
- ②那須烏山市の今後の公共施設について

本市の危機管理、意識について

Q 新型コロナワクチン6千人分の大量廃棄の□□事案について、「原因は不明でコンセントが抜けていた、誰が関わったかわからない」ということは、危機意識が足りなかったと思うが、この問題は、誰がどの様に責任を取るのか伺う。

A 市長 この問題は他の自治体では、職員の処分は行われていない。本市においても原因の特定に至らなかった、懲戒処分は行わないこととした。

Q 山あげ祭において新型コロナウイルスの大規模感染が起きた。実行委員会は、感染対策はしっかり行ったとの事であるが、今年の山あげ祭関係者のPCR検査は実施していない。矛盾していないか伺う。

A 市長 当時あまり感染者が少なかったので、開催できるという考えでPCR検査を行わ

なかった。結果、感染者が増えることとなり、対応が不十分だったと反省している。

那須烏山市の今後の公共施設について

Q 清水川せせらぎ公園については、障がい者が利用できるようなトイレや遊具に改修すべきだとして予算の修正動議が可決された経緯がある。今後の改修の進め方を伺う。

A 市長 予算を議会に上程したが、執行部の詰めから修正動議が可決された。今後、「栃木県コミュニケーション条例」や「栃木県ひとにやさしいまちづくり条例」を踏まえ、栃木県と都市公園化に向けた協議を進め、公園利用者のニーズも踏まえ公園の地形や形状の特徴に考慮しながら、子供からお年寄りに至るまで、皆さんが楽しく、安全に利用出来る公園整備計画を策定し進めたい。



空手道熱血指導中!!

沼田 邦彦 議員

- ①新庁舎整備計画について
- ②防災集団移転促進事業について
- ③JR烏山線の利用向上と存続について

新庁舎整備計画について

Q 本市では大型事業を多数控え、取り巻く環境は厳しさを増す中まちづくりの方向性を含め庁舎方式の在り方と整備計画について伺う。

A 市長 市議会だけでなく市民の中でも様々な意見があり、庁舎整備の必要性について十分な共通認識に至っていない。将来を見据えたまちづくりのランドデザインの中で検討を着実に進めていく。

防災集団移転促進事業について

Q 本事業に対する行政手法と地元住民の受け止め方や考え方に大きな乖離がある。命に関わる本事業に対する合意形成、個別補償、移転先、移転地権者との協議状況について伺う。

A 市長 個別補償への対応、移転先の選定、地権者との協議は常陸河川国道事務所と連携を図り検討を進めている。来年9月頃までには

計画を策定し国と協議に入る。その前に地元で説明し合意形成を図る。

JR烏山線の利用向上と存続について

Q JR烏山線は来年100周年を迎える本市の重要拠点である。7月にJR東日本が赤字状況を開示したところだが、この厳しい現実をどのように受け止め、利用向上を図るのか駅前広場整備、沿線自治体との連携を含め伺う。

A 市長 高根沢町と連携し100周年記念事業及び利用向上に取り組むことで準備を進める。ハード、ソフト両面からJR烏山線の存続に向け利用向上の推進を図る。



来年度開業100周年を迎える烏山線



「人生は敗者復活戦」
仙台育英・須江航監督

平塚 英教 議員

- ①緊急経済対策について
- ②洪水浸水防災対策について
- ③インボイス制度の導入について
- ④水田活用の直接支払交付金制度について
- ⑤防災集団移転促進事業について

洪水浸水防災対策について

Q 地球的規模の気候変動による異常気象が続いている。線状降水帯の豪雨長雨による洪水の発生など、今までの経験値では計り知れない災害がいつ発生するか分からない状況である。本市においても令和元年東日本台風被害に見舞われて間もないが、今年も台風シーズンが到来している。改訂版ハザードマップが全世帯配布されたが、改めて洪水浸水想定区域の確認と関係者各位の事前総点検を求めたい。また指定避難所等の見直し検討は進められているのか伺う。

A 市長 令和元年東日本台風の被害を教訓に、今年も城東第一排水樋管の動作及び排水ポンプ等の作動等の点検を行った。指定避難所等の見直しについては今年度進めている地域防災計画の見直しの中で、安心安全の観点と地域住民の意見を十分踏まえながら、見直しを進めたい。

A 総務課長 指定避難所の烏山体育館については、用途廃止もあり、現在は烏山公民館を次善の指定避難所として開設を図る。それに対応できない場合は、各自治会公民館も自治会長と連絡を密にし、緊急に開いていただくことにしている。また、浸水想定区域にある箇所や公的施設として取り壊す予定のある場所については、地域住民の意見を踏まえ、安全安心の観点で今年度改定する地域防災計画に盛り込みたい。



城東第一排水樋管のポイント作動点検



お薦めの一冊
『塞王の橋』
(今村翔吾)

青木 敏久 議員

- ①烏山線利用促進と烏山駅前の利活用について
- ②本市におけるリスクマネジメント及び内部統制制度について

烏山線利用促進と烏山駅前の利活用について

Q J R 烏山線沿線を挙げて愛着心を醸成するため、烏山線にちなみ“いい線ってる花のプロジェクト”などの、季節の花を植える取り組みについて伺う。

A まちづくり課長 J R 烏山線沿線は、風情が豊かでビュースポットが多い。御指摘のとおり、沿線の協賛を得て磨いていくことが魅力の向上になり、非常に重要なことである。

Q 大金駅の隣には大金神社が鎮座している。鉄道の鉄という字は、金を失うと書くが、「金を失わずに大金が入る縁起のいい鉄道神社」としての再デビューについて伺う。

A まちづくり課長 J R 東日本と協議して、良い方向付け、活用が出来るようにしたい。

Q 鉄道ファンは裾野が広い。市内の那珂川清流鉄道に J R 烏山線を走っていた旧車両キ

ハ40型が3両保存されている。需要を生み出す施設の活用について伺う。

A 市長 当該施設と連携を図れるよう進めていきたい。イベント等、是非とも活用できるように進めていきたい。

Q 駅前そば店は、2次交通のレンタサイクル、観光案内所の機能、八溝そば・島田うどん2大ブランドを有する本市において、大事な食事を提供する場所である。烏山線開業100年間の閉店は、レンタサイクルの拡充、駅前の活性化に取り組むという本市の基本方針にそぐわないのではないか。

A 市長 観光協会として結論を出したものに對して、異議を申し立てることは出来ない。決して、バックギヤを入れているわけではない。適切に運営が出来るよう考えて努めて参りたい。



市民目線で寄り添う活動に努力したい!!

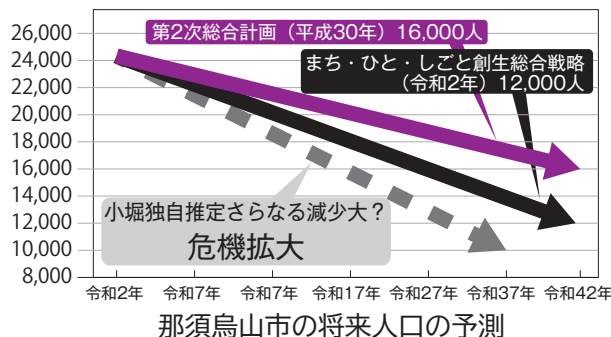
小堀 道和 議員

急激な人口減少対策について

Q 平成30年に策定した第2次総合計画や今回策定の過疎地域持続的発展計画と、現実の人口減少の乖離についての認識と人口減少が及ぼすダメージについての認識を伺う。また、税収が大幅に減少し消防署などのインフラは広域化を進める必要があり、市の職員数もスリム化が必要と考える。広域化と市町村合併も含めて見解を伺う。人口減少施策は「結婚・妊娠・出産子育て支援の充実」と「定住支援の充実」のみでいずれにも魅力的なワクワク感や危機感がないが見解を伺う。

A 市長 第2次総合計画では2060年に1万6千人、令和2年に策定した第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では4千人減の1万2千人と下方修正したが、さらに減少する可能性もある。人口減少により、雇用の確保が

困難になるだけでなく、税収の減少により、財政硬直化や社会基盤の対応が困難になるなど行政サービスの低下を招くおそれがある。しかし、本市職員は類似自治体と比べ大幅に少なく、これ以上の減員は難しい。市町村合併は現時点では考えていない。近隣自治体との広域的な連携強化は重要であり、地域経済の発展や地域課題の解決を考えていく。人口減少抑制の施策は総合計画に全ての取組を掲げたが、現実には人口減少が大きく、修正しながら進めていく。



来年も大谷選手の活躍に期待!

荒井 浩二 議員

マイナンバーカードの普及と利用について

Q 市民のデジタルリテラシー向上を目的に、プレミアム付商品券事業はキャッシュレス決済を導入し、マイナンバーカードの取得率向上のため商品券の購入にあたって、マイナンバーカードの申請と紐付けて行ってはいかがか。

A 市長 キャッシュレス化を進めるためにも、以前から商工会と協議しながら良い方法がないか検討している。議員の御提案もあるので、より一層、情報を集めて進めていきたい。

- ①マイナンバーカードの普及と利用について
- ②栃木県自転車条例について
- ③とちぎパートナーシップ宣誓制度について



栃木県自転車条例について

Q 令和4年7月1日から自転車保険への加入が栃木県の条例により義務化されたが、市民への周知と現状について伺う。

A 市長 自転車事故の年齢層は19歳以下が4割近くを占めている。近年では高額な損害賠償請求事例が発生しており、広報や交通安全教室、交通安全週間における街頭指導等で周知に努めている。





食べ盛り！
実りの秋！

矢板 清枝 議員

- ①地方創生臨時交付金の活用について
- ②肺炎球菌ワクチンについて
- ③サニタリーボックス設置について

地方創生臨時交付金の活用について

Q 原油価格や物価の高騰で、家計が厳しい状況となっている。地方創生臨時交付金の活用について伺う。

A 市長 10月及び12月検針分の水道基本料金を免除する。その他プレミアム付商品券発行事業、飲食店等割引券発行事業、学校給食食材費の購入支援事業、農業収入が減少した農業者への支援金の給付事業、農業者への原油・物価高騰対策として肥料・燃料・園芸施設設置・飼料等の補助事業、デマンド交通運行事業者への原油高騰対策支援事業等を実施する。

Q 地域の事業者や生活困窮等世帯に対して光熱費を補助する自治体があるが、本市でも実施できないか伺う。

A 市長 先進事例の情報を収集し、検討していく。

肺炎球菌ワクチンについて

Q 本市の肺炎球菌ワクチン接種状況と2回目以降も助成ができないかを伺う。

A 市長 平成26年度から、65歳以上の高齢者に4千円を上限に助成をしている。平成23年度から令和3年度末までに、4649人が助成を受けている。2回目以降は全額費用が掛かり、経済的負担が大きいため、他自治体の実施状況などを踏まえ検討していく。

サニタリーボックス設置について

Q 尿漏れパッドやおむつを使用する人が安心して出かけられるよう、公共施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置できないかを伺う。

A 健康福祉課長 保健福祉センター2か所と烏山庁舎1か所の多目的トイレに設置を検討する。

表彰

● 栃木県市議会議長会から小堀道和議員(前副議長)に、会務運営に尽力された功績で感謝状が贈呈されました。



賞状を受けとる小堀議員(写真左)



JR烏山線利用促進特別委員会

山あげ祭臨時特別列車のお出迎え

暑い暑い夏、山あげ祭号を議員全員でお出迎えしました。

山あげ祭の開催に合わせて7月23・24日に運行された、特急新宿発宇都宮行き(リゾートやまどり)。宇都宮からは、烏山線快速臨時列車が運行しました。途中停車駅無しは快適だったと思います。ユネスコ無形文化遺産烏山の山あげ行事をさぞ堪能していただけたと思います。

(委員長 興野 一美)



烏山駅前でのお出迎え

特集

約60年前の錆だらけのバイクを、バラバラにして、1点1点コツコツと磨き上げ、故障している部品は、ネットで探し、きれいな姿に復活させて、乗れるまでにする。

今回、紹介するのは、月次にお住まいの、佐川忠雄さんです。以前、ご自宅を訪ねた時、懐かしいバイク達がきれいな状態で車庫に所狭しと、並んでいました。正直、感動ものでした。仕上げたバイク(約60年前のホンダのカブ)で決められたコース1000キロを、24時間以内で走る



きれいに仕上げたCB72と佐川さん

那須烏山市を拠点に
素敵な活動をしている方を紹介!



カブの愛好家たちと

イベントや太平洋側で朝日を見て日本海側の海を目指して、夕陽を見るツーリング等々の話を聞くことが出来ました。「バイクを仕上げるのも楽しい、そのバイクに乗るのも楽しい」と目を輝かせながら話してくれました。今では全国に知り合いができ、部品の交換や古いバイクの情報交換をする事で、人との繋がりができ、充実した生活を送れているとのことでした。また那須烏山市のメグロミーティングが全国的になることを願っていますとのことでした。

(文責 堀江 清一 議員)



ホームページで
一般質問の録画映像を配信しています。

那須烏山市議会 映像

検索

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那須庁舎3階までお越しください。

議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

次回の12月定例会は、 11月30日(水)開会予定です。

正式な日程は11月22日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

あとかき



非日常が日常になりつつあるなか、デジタル化への潮流が、感染症拡大とその抑止策のために加速し、マイナンバーカードのように生活の中で無視できないものが増えてきた。今までインターネットを敬遠し、ガラケー、現金決済を貫き通してきた方々も、これを機に21世紀の技術を是非とも享受してはいかがだろうか。

ICTスキルは読解記述力と似ている。文字が知識と歴史の蓄積、またコミュニケーションを促したように、スマホが使えれば、その利便性は人の生活を次のステージへと押し上げる。

スマホの使い方と英語、学ばならどちらが簡単かといえば、前者だろう。スマホは最早生活に根差しているので利用機会が多く、習練が容易であるからだ。更に、恩恵を享受し易いため、慣れた人がネットに没頭するのも納得である。

翻訳アプリで英語もだいじ。大谷翔平選手を応援しに行くなら、地図アプリで海外へお忍び視察も乙かもしれない。(荒井 浩二 議員)